

がん腫	呼吸器癌 – 非小細胞肺がん (NSCLC)		
レジメン	DTX 単独		
レジメン内容	用量	点滴時間	Day1
	60mg/m ²	iv	↓
1 クールの期間	3 週間		

✂ 注射 呼吸内科 医師名なし

□ Rp01 予定+0日後から1日分 毎日-(1)			
└─ ルートキープ			
└─ メイン点滴 末梢①			
└─ 点滴(メイン、自然滴下)			
└─ 大塚糖液 5%250ml	1		本
□ Rp02 予定+0日後から1日分 毎日-(1)			
└─ 側管点滴 末梢①			
└─ 点滴(側管、自然滴下)			
└─ 15 分かけて注入			
└─ デキサー注射液6.6mg 2mL			1 瓶
└─ 生食 50ml	1		本
□ Rp03 予定+0日後から1日分 毎日-(1)			
└─ 側管点滴 末梢①			
└─ 点滴(側管、自然滴下)			
└─ 60 分かけて注入			
└─ ドセタキセル点滴静注液80mg/8mL「ホスピーラ」★			1 mg
└─ ドセタキセル点滴静注液20mg/2mL「ホスピーラ」★			1 mg
└─ 大塚糖液 5%250ml	1		本

- レジメンについて
- ✓ 海外で行われた、化学療法既治療のⅢB/Ⅳ期非小細胞肺がん 204 例を対象とした DTX と best supportive care (BSC) のランダム化第Ⅲ相試験 (TAX317) において、DTX は BSC に対し生存期間を有意に延長した (7.0 カ月 vs. 4.6 カ月, p=0.047)。また、DTX と VNR もしくは IFM を比較したランダム化第Ⅲ相試験 (TAX320) では、生存期間には有意差は認められなかったが、1 年生存率は DTX 群で有意に優れていた。これらの結果より、DTX は既治療非小細胞肺がんにおける標準治療として確立された。
 - ✓ 高齢者進行非小細胞肺がんを対象として DTX と VNR を比較した WJTOG 9904 試験より、DTX は高齢者進行非小細胞肺がんに対する標準的治療の 1 つと考えられる。

主なエビデンス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Shepherd FA, et al : J Clin Oncol 18 : 2095-2103, 2000 ✓ Fossella FV, et al : J Clin Oncol 18 :2354-2362, 2000 ✓ Kudoh S, et al : J Clin Oncol 24 : 3657-3663, 2006 ✓ Maruyama R, et al : J Clin Oncol 26 : 4244-4252, 2008
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開始基準 投与前の好中球数2,000/μL以上、血小板数100,000/μL以上

減量基準 ① FN, 25,000/μL 未満の血小板減少、Grade2 の末梢神経障害、Grade3 の非血液毒性が認められた場合、次コース以降は 50mg/m² に減量。

	② 1段階減量（60 → 50mg/m ² ）したうえでさらに減量が必要となった場合、Grade3以上の末梢神経障害，Grade4の非血液毒性がみられた場合は治療を中止。
主な副作用（%）	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 60mg/m²におけるGrade4の血液毒性：好中球減少 60.6，白血球減少 14.7 ✓ 70mg/m²におけるGrade4の血液毒性：好中球減少 73.7%，白血球減少 27.1 ✓ Grade3以上の主な非血液毒性：FN 7，食欲不振 7，悪心 4，倦怠感 3，便秘 3，嘔吐 1，浮腫 1，肝機能障害 1，脱毛 59
当院レジメンについて	✓ LECであり、制吐療法は dexamethasone 6.6mg 単独。 国立がんセンターでは、前投薬として dexamethasone 6.6mg に加え、dl-クロロフェニラミンマレイン酸塩の点滴も行っている。
患者への注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アルコール過敏の有無について確認。アルコールを含有しているため、車の運転等危険を伴う機械の操作を避けるのが望ましい。 ✓ DTX 60mg/m² の Nadir までの期間の中央値は 9日間。 ✓ DTX 60mg/m² の 5コース目の末梢性浮腫発現率は 15.3%、末梢神経障害の発現率は 13.9% とされており、これらの副作用は投与コース数の増加に伴いその発現率が上昇する傾向にある。
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肺がん診療ガイドライン 2016年版 ✓ がん薬物療法ガイド レジメン+薬剤情報 編集 国立がん研究センター 内科レジデント・薬剤部レジデント （医学書院） ✓ 肺癌化学療法プロトコール 2015（浜松医科大学）